

☆☆

## 1. 損害保険契約内容確認のご協力をお願いします

損害保険のご契約の皆様には、損害保険会社による、「保険金の未払い」「保険金の不払い」「保険料のもらいすぎ」等の不祥事で、ご不安にさせたりして大変なご迷惑をおかけしています。

当社取扱の保険会社におきましては、保険金の支払い部門である損害調査体制の抜本的な見直しと体制強化に邁進しており、変化の兆しははっきりと認識できるようになりました。

これにより、保険金の未払い、不払いの原因は大きく改善されるものと期待しています。

しかし、保険金支払いという出口の部分をいくら改善しても、入り口の部分での問題を解決しなければ、さらに問題は大きくなるとみられています。

ここで、損害保険各社は6月より全保険契約において契約の内容確認書を取り扱う事になりました。(火災保険におきましては、4月より開始しています)

契約内容確認書の主な内容は、保険の目的、被保険者、保険金額、各種割引制度の説明、保険料、車両保険や地震保険の説明を受けたかどうか等、ご契約者様にしっかり確認をしていただく内容となっています。

契約内容確認書を説明、確認に要する時間は30分から1時間程度必要となり、ご契約者の皆様には、大変お手数をお掛けするとは思いますが、これを機会に現在の保険契約の再確認と、ご理解を深めるチャンスとさせていただきましたら幸いに存じます。

契約内容確認書を通じて、保険に対する認識と理解をより明確化することが出来ます。

皆様と一緒に、今まで以上にしっかりとした保障の構築を考え、選んでいただけることは、必ずや皆様のためになることと思います。

今回の損害保険会社の不祥事をきっかけとして、数字至上主義の保険会社に警鐘をならし、キャンペーン等による強引な販売施策(当社では、契約者の利益につながらないという理由で、保険会社のキャンペーン販売には反対しております)の見直しをして、契約者利益につながる適正な保険契約になると信じています。

## 2. LOHASってなんだろう

最近よく見かける言葉でLOHAS(ローハス/ロハス)というのがあります。

すごく気になって調べたので紹介します。

LOHASとはLifestyles of Health and Sustainabilityの頭文字をとった略語で、健康と環境、持続可能な社会生活を心がける生活スタイルのことをいいます。つまり地球環境保護と健康な生活を最優先し、人類と地球が共存共栄できる持続可能なライフスタイルと、それを

望む人たちの総称として使われています。

そもそもLOHASとは1990年代の後半にアメリカ中西部、コロラド州ボルダー周辺で生まれた新しいビジネスコンセプトです。

ボルダー周辺には、地球環境問題や農薬汚染の問題に危機意識を持ち、LOHASな事業を始めた人たちが誕生しました。

日本においては2004年後半からマスメディアに頻繁に登場するようになり、雑誌や女性ファッション誌、環境誌にも登場するようになり、認知度も高まっています。

ここで日本におけるロハスな人、モノ、活動の支援、認定を行っているロハス公式評議団体であるロハスクラブによるロハスの6つのキーワードを紹介します。

#### i. 健康的な暮らし

人の暮らしは「食べる」「動く」「考える」「眠る」といった活動の繰り返し。その循環が健康的であることがロハスの基本です。まずは自分にとって快適な、健康的な暮らしの要素について、考える事から始めましょう。

#### ii. 自然環境への配慮

暮らしが健康的であると同時に、暮らしを取り巻く自然環境もまた健康であることが、ロハスの実現には不可欠です。暮らしを犠牲にするのではなく日々無理なくできる自然環境への貢献とは何かを考え、実行してみましょう。

#### iii. 五感を磨く

ロハスの在り方は、人それぞれ。自分の判断で、自分にとって必要なもの、そうでないものを選択する事が求められます。情報や数値による判断だけではなく、自分自身の感覚でほんものを見つけることがロハスには不可欠です。

#### iv. 古いものと新しいもの

最先端の技術と、伝統的な知恵。新しい発想と、古からの習慣。どちらかひとつではなく、新旧それぞれの良いところ、必要なものをバランスよく選びとること。

それを自分の暮らしに取り込む方法を見つけましょう。

#### v. つながりを意識する

社会も環境も、自分の足元から地続きでつながっています。食べたものはどこから来たのか。捨てたゴミはどこへ行くのか。買ったり使ったりすると、地球にどんな影響を及ぼすのか。その先に何があるのかをイメージしましょう。

#### vi. 持続可能な経済

ロハスは都市生活や消費活動を否定しません。便利で楽しい、ハイセンスで格好いい、そんなモノやサービスによって、人にも環境にも優しい持続可能な経済システムをつくる。ロハスは経済から、社会の在り方を変えていきます。

地球環境や従業員の労働条件に配慮し、地域社会に貢献をしながら安定した利益を挙げることを目指す「企業の社会的責任（CSR）」という考え方を、経営に取り組むこともロハス的な考え方だと思えます。

投資の世界においても、社会的責任投資（SRI）により、環境に優しい企業等を応援することにより、間接的に環境改善に貢献することも可能となります。

目先の利益を求めず、持続可能な社会を目指す企業に投資をすることもロハスなライフスタイルといえます。これは長期的視点でリターンを生むような思考かもしれません。

### 3. 住宅ローンの「脱銀行」化

住宅ローン市場で、住宅メーカーやノンバンクを設立母体とする住宅専門会社（モーゲージバンク）がシェアを大きく伸ばしています。

公的な住宅金融支援機構と提携した「フラット35」の販売に絞ると、2006年度の取扱件数は全体の46.9%となり、2005年度の37.6%より拡大しました。

この理由として挙げられるのは、都市銀行や地方銀行に比べてローン金利がおおむね低いことです。また、金利の低さだけでなく、手数料の低さも魅力になっています。

歴史上まれにみる低金利時代に、最長35年もの間、現在の低金利を固定できる「フラット35」はまさに、住宅ローンの王道的商品といえます。

ただし、銀行でも独自の長期固定の住宅ローンを販売したり、特定の疾病に罹ったときに住宅ローン返済を免除する保障付きの商品を取りそろえるなど、魅力的な住宅ローンのバリエーションを増やしています。

これに対抗してフラット35においても、融資金額の上限を物件購入の80%から90%に引き上げたり、同時に、がんなどに罹った場合に返済を免除する、保障付きの商品も取り扱いを開始しました。また、バリアフリー住宅の金利優遇も始めました。

今後、固定期間を短くして金利を抑える「フラット20」の導入も検討中とのことです。

これらのフラット35商品の商品改革が進めば進むほど、住宅ローンは魅力が増し、住宅専門会社のビジネスチャンスはますます拡大していくものと見られています。

### 4. 藤井のセーフティドライブ 「6月は梅雨の季節」

6月にもなれば、4月から自動車通勤を始めた人もそろそろ慣れてくる頃です。

しかし、運転に慣れると、人間は慢心になりやすく、気がゆるみやすくなります。

ちょっとみんなで遠出でも、と友達と4人でドライブ…車内は楽しい話で盛り上がります。

そんな時、雨が降ってきましたが緊張感はありません。ワイパーを動かして余裕で運転を続けた直後に下りのカーブに差し掛かりました。会話に夢中になっていたため、カーブの発見がちょっとだけ遅れました。そのためカーブが目前にせまってきたのでブレーキ操作が強くなりました…スリップしてガードレールで止まって助かりました。（仮のお話です）

雨は降り始めが最も滑りやすくなっている場合が多く、細心の注意が必要となります。

雪道と同じようにスピードを緩め、繊細なブレーキ操作を心がけます。

また、本来なら他人を乗せての運転は責任重大で慎重でなければいけません。

搭乗人数が4人の場合、1人で運転するときより120kg～220kgほど重くなりますので、運転感覚はかなり違ってきます。重いので重力や慣性の力も強くなります。

そこに雨が降り路面が滑りやすくなれば、スリップしても不思議ではありません。

天童市内の国道13号線で、雨の夜、直線道路の車線変更で乗用車がスリップして横転した事故がありました…それはとても悲惨な事故となりました。同乗していた若い男性の明るい未来が一瞬に消え去りました。そして残された家族の心境は…

雨の多い6月はタイヤの点検を必ずしてください。スリップラインが出ていたらすぐ交換しないと、あなたの自動車は「道路を走る棺桶や凶器」に変わりかねません。

自分は大丈夫と思っている方。初心者もベテランも心のスリップラインは出ていませんか。くれぐれもご用心ご用心。

## 5. 投資入門講座

---

上場投資信託の「ETF」が注目を集めています。

ETFとは「Exchange Traded Fund」の略で証券取引所で取り引きできる投信です。

各国の株価指数に連動するため、個別銘柄よりも分かり易く、通常の投資信託に比べ、コストが低いのが特徴です。

日本株式のETFのみならず海外ETFも現在では約30本程度取扱となり、品揃えは今後も増える見通しです。

日本では直接個別株式を買えない新興国などの株式も、ETFを通じてなら購入が可能となります。

ETFの大きな特徴は、保有期間中ずっとかかる信託報酬が安いことです。信託報酬が安いということは、長期の運用に向いているといえます。

ただし、売買時には、販売手数料、海外ETFの場合は外国株同様の販売手数料と為替手数料がかかります。

一般的な投資信託の中で、アクティブ運用：積極運用型（市場平均を上回るようにファンドマネージャーが銘柄を取捨選択をするタイプ）は運用次第で市場平均（ベンチマークとしている場合もあり）を上回ることも下回ることもあります。

また、信託報酬はETFと比較して高めとなっています。

もちろん、その高い信託報酬というコストを上回る運用が出来る場合もありますので、一概に、良い悪いの判断は出来ませんが、保有コストの安さは重要な要素となります。

アクティブ運用型投信のなかで市場平均値を下回るのも多数あり、コストも高く運用も良くないというのは要注意となります。

保有コストの低さを生かして、効率的な国際分散投資をすることも可能となります。

現在主な海外ETFには、米国（ダウ工業株30種平均、S&P500、ナスダック100）、中国（ハンセン指数、ハンセンH株指数、FTSE/新華A50チャイナ）、欧州（MSCIヨーロッパ）、先進国（MSCI EAFE、MSCIパシフィック ex-Japan）、新興国（MSCIエマージングマーケット、MSCIブラジル指数、MSCI南アフリカ指数）など細分化された国や地域と指数がありますので、ローコストで国際分散投資が可能となります。

## 6. 高橋詔之さんが新しいメンバーに加わりました

---

6月から、当社のパートナーとして高橋詔之さんが加わりました。

高橋さんは国内大手生命保険会社に勤務後、生命保険協会に勤務し、生命保険業界に尽力をしてきた経験の持ち主です。皆様よろしくお願ひ申し上げます。

☆☆

発行者 有限会社 FPコンパス 武田幸夫

木村正照、阿部信、高橋治子、藤井義容、五島清次郎、高橋詔之、深瀬幸子、多田恵子

〒994-0054 山形県天童市荒谷2589

TEL 023-654-8831 FAX 023-654-8832

E-mail tide@mm.newweb.ne.jp